

清瀬

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科

公民 科目 政治・経済

教科：公民

科目：政治・経済

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～8組

教科担当者：（伊東）

使用教科書：（政治・経済（東京書籍））

教科 公民

の目標

【知識及び技能】 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけます。

【思考力、判断力、表現力等】 国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や、構想したこととの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養います。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、日本および国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めます。

科目 政治・経済

の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	合意形成や社会参画に向け、国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想したり、社会の在り方などについて構想したこととの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり、表現したりしている。	よりよい社会の実現のために、民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
○民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化、世界のおもな政治体制について理解する。 ○法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か考察する。 ○日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解する。 ○近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか考察する。	○政治の役割や、社会契約説における政府と国民との関係性について理解する。 ○民主政治にとって権力分立がなぜ重要か考察する。 ○法の意義や、「法の支配」が民主主義に不可欠であることについて理解する。 ○私法に関する基本的な考え方を踏まえ、法が自分の生活にどのように関係しているか考察する。 ○成年年齢が変更された背景について理解する。 ○成年を迎えたらどのような点に留意する必要があるか考察する。 ○基本的人権が確立した過程と人権保障の歴史的展開について理解する。 ○人権の国際化のなかで、日本の人権保障はどうあるべきか考察する。 ○ファシズムが生み出された背景や、多数決原理にもとづく民主政治の課題について理解する。 ○よりよい民主政治のあり方について考察する。 ○議院内閣制と大統領制の違いや、旧社会主義圏や旧植民地諸国における政治体制について理解する。 ○民主政治の諸原理が各国の政治体制にどのように反映されているか考察する。 ○大日本帝国憲法および日本国憲法の特徴について理解する。 ○憲法改正に関する議論について考察する。 ○基本的人権と自分の生活との関係、「新しい人権」の確立が求められている背景について理解する。 ○「公共の福祉」はどのような場合に適用されるべきか考察する。 ○憲法第9条をめぐる意見の対立や、日本の安全保障体制の変化について理解する。 ○平和主義の下、今後の日本の安全保障はどうあるべきか考察する。	【知識・技能】 ・民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化、世界のおもな政治体制について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 ・明治憲法と比べた日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」との関係、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か多面的・多角的に考察し、表現している。 ・近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	16
1学期 定期考査			○	○		1

<p>○国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立性の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解する。</p> <p>○国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があり、どうすればそれを解決できるか考察する。</p> <p>○政党政治と利益集団、選挙の意義としくみ、選挙をめぐる諸問題、世論形成におけるマスメディアの役割について理解する。</p> <p>○具体的な政策を通して、主権者である自分はどのように政治参加をしていけばよいか考察する。</p>	<p>○国会の権限や組織、運営について理解する。</p> <p>○日本の国会にはどのような課題があり、それをどのように解決すべきか考察する。</p> <p>○内閣の権限や内閣と国会の関係について理解する。</p> <p>○日本の行政にはどのような課題があり、それをどのように解決すべきか考察する。</p> <p>○司法権の独立性の必要性や裁判のしくみ、裁判員制度について理解する。</p> <p>○日本の司法にはどのような課題があり、それをどのように解決すべきか考察する。</p> <p>○憲法における地方自治の規定や、地方自治における住民の権利について理解する。</p> <p>○日本の地方自治にはどのような課題があり、それをどのように解決すべきか考察する。</p> <p>○議会制民主主義において政党が必要な理由や、戦後日本の政党政治の変化について理解する。</p> <p>○現代の日本の政党政治にはどのような課題があるか考察する。</p> <p>○日本の選挙制度の特徴や選挙の課題について理解する。</p> <p>○日本の選挙における低投票率を改善するにはどうすればよいか考察する。</p> <p>○世論の形成過程、世論の政治への反映のしかた、NPOやインターネットが政治に与える影響について理解する。</p> <p>○日本の政治における争点や政治的意見を踏まえ、自分が賛同する政治的立場について考察する。</p> <p>○選挙権年齢引き下げの背景や選挙権を行使する意味について理解する。</p> <p>○選挙権の行使に向けて、政党や候補者の主張をどのように検討すべきか考察する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立性の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 ・政党政治と利益集団、選挙の意義としくみ、選挙をめぐる諸問題、世論形成におけるマスメディアの役割について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があり、どうすればそれを解決できるか多面的・多角的に考察し、表現している。 ・主権者である自分はどのように政治参加をしていけばよいか、具体的な政策を通して多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	○	○	○	16
定期考査			○	○		1

○社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代日本の経済に関わる諸課題について多面的・多角的に考察したり、解決に向けて構想したりする活動を通して、現代日本の経済に関わる概念や理論などを理解できるようにするとともに、課題を意欲的に追究する。

○戦後日本経済の発展や日本経済の現状について理解する。

○現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか考察する。

○経済活動の特徴、資本主義経済の成立と変容、社会主義経済と新自由主義について理解する。

○資本主義経済の特徴に着目し、資本主義経済が今日の世界経済の主流となったのはなぜか考察する。

○希少性やトレードオフなど経済活動の基本原則について理解する。

○経済体制にはどのようなものがあるか考察する。

○資本主義経済と社会主義経済の成立と発展について理解する。

○今日の資本主義経済にはどのような課題があるか考察する。

○経済主体と経済の循環、企業の活動と社会的責任、市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長、物価と国民生活、金融および財政のしくみと機能について理解する。

○企業、市場経済、国民所得、金融、財政などの観点に着目し、現代の経済はどのようなしくみで、どのような課題を抱えているか考察する。

○家計および企業の経済活動や、各経済主体の相互関係について理解する。

○なぜ経済は循環するのか考察する。

○企業の活動や、株式会社の特徴について理解する。

○現代の企業に求められているものは何か考察する。

○市場における価格の役割や、独占禁止法による規制の必要性について理解する。

○市場は必ずしも万能ではないといわれる理由について考察する。

○経済活動の規模や変化をとらえる指標や、景気変動が起こる理由について理解する。

○インフレーションやデフレーションが国民生活にどのような影響を与えるか考察する。

○金融の役割や、金融政策の手段について理解する。

○なぜ金融の自由化が進められ、それは日本経済にどのような影響を与えたか考察する。

○自分のライフプランを立て、それをもとにどの時期にどの程度の資金が必要か理解する。

○金融商品を購入する際にリスクとリターンをどちらを重視すべきか考察する。

○財政の役割や、公平な税制のあり方について理解する。

○日本の財政の課題を抱える課題や、持続可能な財政および租税のあり方について考察する。

○戦後復興から高度経済成長の終焉までの日本経済の変遷と産業構造の変化について理解する。

○バブル経済が発生した理由と終わりを迎えた理由について考察する。

○バブル経済崩壊後の日本経済の状況や、2000年代以降に試みられた経済改革が日本社会に与えた影響について理解する。

○日本経済が抱える課題を解決するにはどうすればよいか考察する。

○公害と環境保全、農業・食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と課題、消費者問題、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会の実現について理解する。

○日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるか考察する。

○公害問題が発生する理由や、公害を防止する方法について理解する。

○持続可能な社会の形成のために自分たちにできることは何か考察する。

○戦後日本の農業政策の展開や、林業や漁業が抱える課題について理解する。

○これからの日本の農業と食料はどうあるべきか考察する。

○日本経済における中小企業の地位や、日本の中小企業が抱える課題について理解する。

○日本経済の活性化のためにどのような中小企業政策が必要か考察する。

○情報化の進展が社会にもたらしているイノベーションや、「第四次産業革命」が社会生活にもたらす変化について理解する。

○デジタル社会においてどのようなことに注意すべきか考察する。

○消費者問題が発生する理由や、消費者保護のために行われている施策について理解する。

○消費社会において、自分たち消費者にはどのような知識や行動が求められるか考察する。

○労働問題が発生する理由や、憲法や労働三法が保障する労働者の権利について理解する。

○雇用・労働問題を取り巻く状況と、これからの日本の雇用のあり方について考察する。

○自分に合った働き方を実現するためにはどのようなことに考慮すべきか理解する。

○社会全体の労働条件を向上させるにはどうすればよいか考察する。

○社会保障制度の発展・変化や、日本の社会保障制度の特徴と課題について理解する。

○少子高齢社会においてどのような福祉社会を築いていけばよいか考察する。

【知識・技能】

- ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民所得と経済成長、物価と景気変動、財政のしくみと役割および租税などの意義、金融のしくみと機能について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。
- ・現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。
- ・戦後日本経済の発展と、日本経済の現状について理解している。
- ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。

【思考・判断・表現】

- ・個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、経済活動と福祉の向上との関連ならびに市場経済の機能と限界、持続可能な財政および租税のあり方、金融を通じた経済活動の活性化について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。
- ・現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか多面的・多角的に考察し、表現している。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。

○ ○ ○

	<p>○社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、習得した概念や理論などを活用しながら、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本の諸課題の解決に向け、政治と経済を関連させて多面的・多角的に考察したり構想したりする活動を通して、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述し、合意形成や社会参画に向かうことができるようにする。</p> <p>○社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の国際政治に関わる諸課題について多面的・多角的に考察したり、解決に向けて構想したりする活動を通して、現代の国際政治に関わる概念や理論などを理解できるようにするとともに、国際平和と人類の福祉に寄与しようとする自覚を深める。</p>	<p>○日本の子育て支援の現状について理解する。</p> <p>○少子高齢社会における子育て支援はどうかを考察し、表現する。</p> <p>○地域社会の現状について理解する。</p> <p>○地域社会の独自性を活かしながら活性化を図るにはどうすべきかを考察し、表現する。</p> <p>○労働におけるジェンダー平等の現状について理解する。</p> <p>○性別にかかわらず働きやすい労働環境はどうかを考察し、表現する。</p> <p>○日本の中小企業の強みと課題について理解する。</p> <p>○中小企業の強みを活かすにはどうすればよいかを考察し、表現する。</p> <p>○日本の財政の現状について理解する。</p> <p>○日本はどのような「福祉国家」をめざすべきかを考察し、表現する。</p> <p>○日本の農業の動向について理解する。</p> <p>○農業を魅力ある産業にするにはどうすればよいかを考察し、表現する。</p> <p>○日本が直面する災害とその対策の現状について理解する。</p> <p>○自分が暮らす地域の防災・減災対策はどうかを考察し、表現する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 ・国際社会の変遷、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、軍縮と紛争防止、日本の国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代の国際政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢社会における社会保障、地域社会の活性化、多様な働き方・生き方の実現、中小企業の意義と課題、日本財政の健全化、持続可能な食料・農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、国際法の果たす役割および国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かうとしている。 ・現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	○	○	○	10
3学期	<p>○第二次世界大戦後の国際関係の展開と日本、地域主義の動き、軍縮の動向と課題、地域紛争と難民問題、国際社会における日本の役割について理解する。</p> <p>○国際社会の各主体の役割や自分自身との関わりに着目して、国際対立や地域紛争を解決し、平和を実現するにはどうすればよいかを考察する。</p>	<p>○国際社会の成立と主権国家、国際社会の秩序維持と国際法、国際連盟の成立と挫折、国際連合の役割と課題について理解する。</p> <p>○国際社会のさまざまな主体やルールに着目して、国際社会における利害調整や紛争解決がどのように行われているかを考察する。</p> <p>○主権国家と国際社会の形成過程や、国際社会の特徴について理解する。</p> <p>○現代の国際社会には主権国家以外にどのような主体があるかを考察する。</p> <p>○国際社会の秩序維持の要因や、国内法と比較した国際法の特徴について理解する。</p> <p>○国際司法機関がどのような役割を果たしているかを考察する。</p> <p>○集団安全保障のしくみが必要とされた背景や、平和と安全を維持するための国際連合の取り組みについて理解する。</p> <p>○国際連合が抱える課題について考察する。</p> <p>○第二次世界大戦後の国際関係や、冷戦体制の変化について理解する。</p> <p>○日本はどのようにして国際社会に復帰し、どのような立場で行動してきたかを考察する。</p> <p>○冷戦終結後の国際関係の変化や、現在の国際社会が抱える課題について理解する。</p> <p>○日本は国際平和や安全保障のためにどのように行動していくべきかを考察する。</p> <p>○世界で地域主義が進んでいる理由や、EUの成立過程および特徴について理解する。</p> <p>○地域主義の動きに日本はどのように関わっているかを考察する。</p> <p>○核抑止体制の問題点や、軍縮をめぐる現在の動向について理解する。</p> <p>○日本は唯一の核兵器被爆国として、軍縮に向けてどのように取り組むべきかを考察する。</p> <p>○核抑止体制の問題点や、軍縮をめぐる現在の動向について理解する。</p> <p>○日本は唯一の核兵器被爆国として、軍縮に向けてどのように取り組むべきかを考察する。</p> <p>○近年、国境を越えたテロリズムが多発している理由について理解する。</p> <p>○地域紛争を予防し解決するためにはどうすればよいか、また日本は難民問題に対してどのように向き合うべきかを考察する。</p> <p>○日本の外交や安全保障が直面している課題や、今日の国際社会において日本に求められている役割について理解する。</p> <p>○日本の国際協力や開発援助はどうかを考察する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後の国際関係の展開と日本、地域主義の動き、軍縮の動向と課題、地域紛争と難民問題、国際社会における日本の役割について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の各主体の役割や自分自身との関わりに着目して、国際対立や地域紛争を解決し、平和を実現するにはどうすればよいか多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	○	○	○	8
							合計
							70